

音楽とは、横への感性なり

合唱団 ホームページアドレス
<https://www.wiengifu.org>

5 月号

2022 年 5 月 1 日

編集・発行

ウィーン岐阜合唱

まち ぎと おとたの
岐阜の街 ウィーンの如く 音楽し 作:音楽総監督 平光 保

～ 少なくとも歌える幸せに感謝 ～

岐阜支部 ソプラノ 井上 多恵子

私は金華山の麓に住んでいます。山登りが好きで時間を見つけては金華山に登っています。静けさの中に小鳥のさえずり、木々の香り、マイナスイオンを浴びて歩く至福のひと時です。そして歌も大好きです。学生時代はギターを弾いてフォークソングを歌い、社会に出てからは会社の合唱のグループに入って、労働者の歌の集まりに参加し北海道や神戸などに行き友好を深めました。

それからは仕事と育児でいつしか歌から遠ざかっていました。そんな時、近所の方にウィーン岐阜合唱団の定期演奏会のチケットを頂き観に行きました。最後にステージと客席が一緒になり「千の風になって」を歌い涙がぼろぼろ流れてきました。そして9月に入団し第九の練習に入りました。初めての第九では原語で高い音で一生懸命に練習しました。正式に発声の練習をしていない私は喉を痛めおまけに忘年会シーズンでアルコール・・・声が全く出なくなりました。初めての第九の本番は口ばくでした。

仕事先が遠くいつもセッティングされた会場に行き歌って帰るお客様状態でした。本当に申し訳ない私でした。行事にもあまり参加できませんでしたが、リトアニアの方との親睦会・高山の第九等素晴らしい体験をさせて頂き感謝しています。

さあ退職したから「ヨーロッパ旅行」と楽しみにしていたらコロナで中止でした。ウクライナの戦争・コロナ・東北の震災等 地球上では大変なことが次々起こっています。そんな中で少なくとも歌える幸せに感謝し、何もできない自分ですが世界中の幸せそして平和を願いながら歌っていきたいと思います。

「歌うこと それは幸せ 心が癒える 細胞イキイキ 若さの秘訣」

～ 多くの愛と出会いに感謝 ～

岐阜支部 ソプラノ 坪内浄嘉

振り返れば 30 年余りの長きに亘ってウィーン岐阜合唱団と共に私は歩んで参りました。この間に平光先生と伴和子先生と真由子先生のお三方からいただいた数え切れないご指導には感謝しても感謝仕切れません。いまだ応え切れずにいるというのが実感です。練習中にいただいた多くの団員の皆さまからの温かいお言葉に背中を押され、手を引かれながらここまで続けて参りました。最近足具合が悪くなり練習会場への行き帰りで、仲間の皆さまにご迷惑をお掛けすることが増えてきました。引きの美学と言えば格好が良過ぎで、ここは観念したと言ふべきでしょう。ついに自分を振り返る順番が私に回ってまいりました。

長い間には思い出は山盛りあるのですが、三つに絞らせていただきます。

- (1) 最初の頃にマエストロは私たちに『土の歌』を選ばれました。本当に難しい詞でしたが、自然や土への感謝の気持ちから、戦争の醜さまでを表現し、今にして思えば研ぎ澄まされた日本語で綴られた作品でした。「すさんだ当時の時代に思いを巡らせ、敢えて選曲されたに違いない！」という一途の思いで、大胆にも私は平光先生に感謝のお手紙を出したのです。「先生この曲を今私たちのために選んでいただいております。」
- (2) 当時は『スクールコンサート』が結構あったように思います。小学校へ出向き、和子先生の元気な歌やプロが奏でる楽しい曲を私は生徒と一緒に聴きました。会場には歌や演奏に合わせて反応する子どもたちが一杯いました。「ビリーブ」の演奏の際は体育館で期せずして大合唱が起きました。あの時は団員の一人として、私はそこに居合わせて本当に幸せだなと思いました。あの真彌先生が子どもにそっと近づき、その耳元でバイオリンを奏でるなんて、これに興奮しない生徒がおりましょうか。それを見ているだけで嬉しかったものです。
- (3) 何と言っても『第九の合唱』は格別です。200 年前にベートーヴェンは世界の友よ、共に声高らかに歌おうではないか！というシラーの詩に音を重ねて以来人々を寄せつけて離さない力があります。一度あの合唱を体験すると、特別な達成感に酔いしれます。合唱に加わるために県内外の各地に出掛け、同じ想いの人々と出会い、そして交流も出来て本当に充実感に満たされました。これまでに私は何回登壇したのかな？

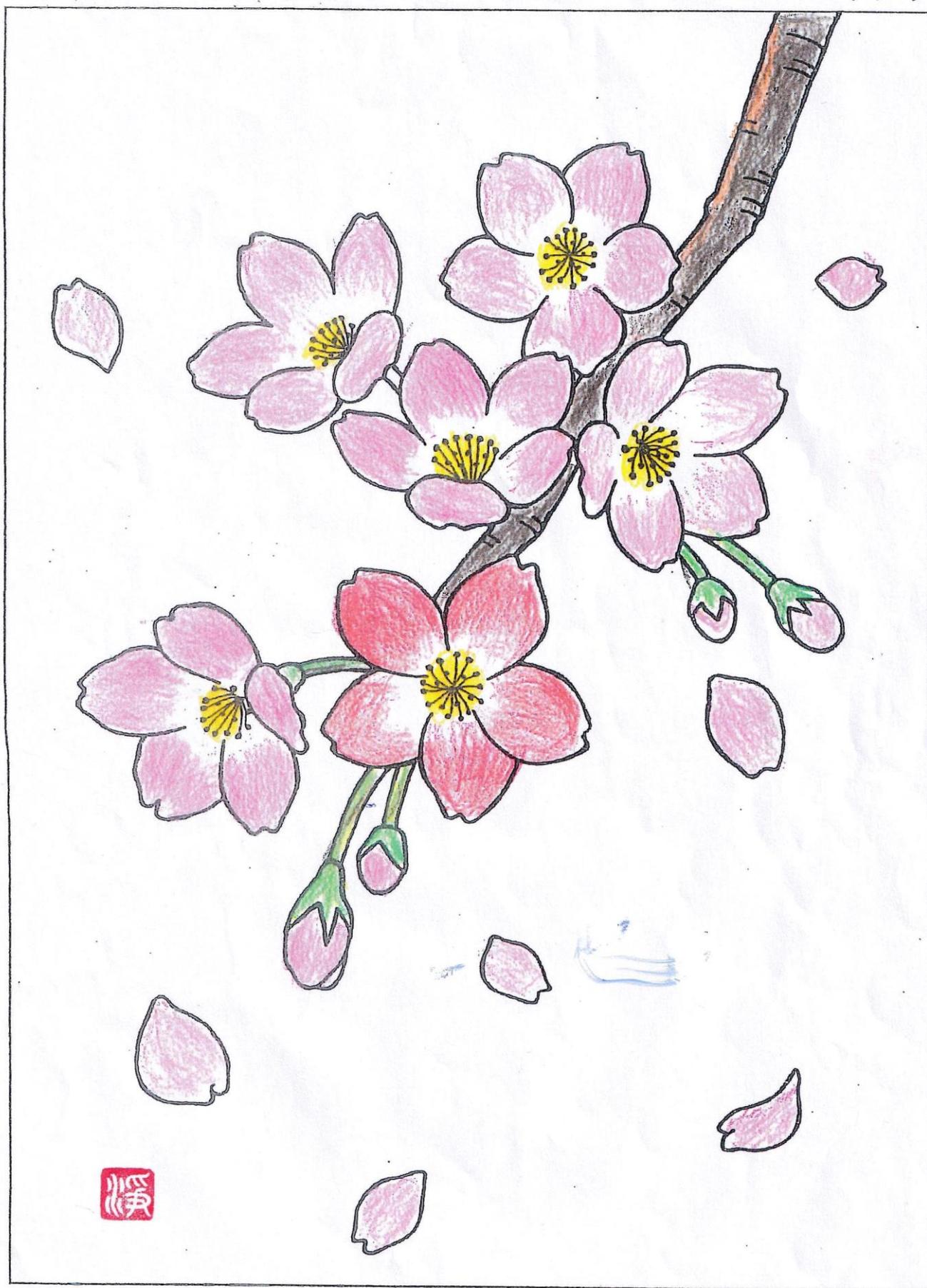
これからも第九と聞くだけで身体が反応してしまうに違いありません。私は虜になってしまったのですから。侵攻・撤退・放棄・制圧・・・今現在ウクライナで起こっていることにベートーヴェン先生は何と言うでしょう。“歴史は繰り返す”でしょうか？

最後になりますが、この 5 月号に挟まれた私の絵について少し触れます。先日ラジオ深夜便で、奈良時代の日本に帰化した鑑真和上(がんじんわじょう)の教えについて触れておりました。彼は荒んでいた当時の日本を憂い 和平の心 を機会あるごとに訴え続けたそうです。やがて全国でさくらが咲き、人々が春爛漫の花を愛でるようになったとのこと。彼のその信念と実践に感じ入った私はじっとしておられずに一枚の絵に取り組みました。拙いものですが、私なりに色使いには心を込めて描かせていただいたことを申し添えます。

それでは皆さま本当にお世話になりました。

(坂井)

サクラ



～ 歌うのは楽しい ～

大垣支部 テノール 谷澤 三喜夫

昨年予定されていた岐阜のネンリンピックは残念ながら新型コロナの影響で中止になりました。が、その開会式に向けて「みどりをそめて あさの日は・・・」の岐阜県民の歌を練習し始めたとき、5年前に廃校になった故郷の鹿児島県の北薩にある「柵野(くきの)小学校」の校歌を思い出しました。私が通っていた頃は同級生が11人で全校生徒が60人ぐらいでしたが、廃校になる時には全校で5人だったそうです。中学校や高校の校歌は忘れていたけれども小学校の校歌はかすかに覚えていました。姉が名古屋に嫁いでいたこともあり、45年前に名古屋鉄道のレストラン事業部に入社して名神高速道路の“養老サービスエリア”沖繩の「黒島マリビレッジ」、「サイパングランドホテル」、「多賀サービスエリア」そして新名神の「土山サービスエリア」などで主に調理士として働いていました。そして2019年に無事定年を迎えました。職場では定年延長を勧められましたが、体が元気なうちに旅行などして、今まで出来なかったことをやろうと思い退職しました。

そして2020年の2月にゴルフツアーに参加して臼井さんご夫婦と一緒に楽しい時間を過ごしました。その後すぐに新型コロナ禍で自粛生活が始まりました。翌年2021年に、ゴルフ場で臼井さんと何度かお会いしているうちに合唱団のお仲間も交えてコースを一緒に回る機会がありました。臼井さんが団長をされていることはこのときに知りました。「7月から合唱団の練習が始まるので参加されませんか？」と声を掛けていただいたのがきっかけとなって大垣会場の練習に参加して今に至っております。

これまではカラオケに行っても歌いやすい歌を、それこそ好き勝手に歌っていた私でしたから、楽譜を見ながら、しかも他の人に合わせて歌うのは正直大変です。たまに声が出ない音域もありますが、歌うのは楽しいので何とか続けています。

【下記は2022年4月6日付け岐阜新聞に掲載された大垣市南地区センターでの練習風景です】

ウィーン岐阜合唱団、9月定演へ団員募る



定期演奏会に向けて練習を開始したウィーン岐阜合唱団＝大垣市南地区センター

仲間とともに
歌声奏でよう

アマチュア混声合唱団「ウィーン岐阜合唱団」が、9月に岐阜市で開く定期演奏会に向けて同市と大垣市で練習を始めた。コロナ対策を実施した上での練習で、演奏会に出演する団員を募集している。合唱団は、プロオーケストラのウィーン岐阜管弦楽団との共演で、定期演奏会のほかベートーベンの交響曲第9番を披露する第九演奏会などを開催。定期演奏会では、「春の小川」や「故郷」などからなる組曲「ふるさとの四季」やモーツァルトの「戴冠ミサ」などを披露する。

3月に始まった大垣市南地区の南地区センターでの練習では、合唱団の団員が間隔を空けて立ち、マスク越しに伸びやかな歌声を響かせた。音楽総監督の平光保さんは「合唱を通して仲間づくりをしながら、人生をより豊かにすることをアーマにしている」と話し、参加を呼びかけている。

定期演奏会は9月23日に岐阜市蘇田南のサラマンカホールで、練習会場は同市前一色の長森コミュニティセンターで毎週木曜日、南地区センターで毎週金曜日、いずれも午後6時30分から。入会費と会費が必要。見学も受け付けている。問い合わせは合唱団事務局の田中智恵美さん、携帯電話090(1626)8697。

(小田香緒里)

5 月～7 月 練習予定

♪～ 準備が先、声は後 ～♪

| 平日 (18:30～20:30) | | 日曜 (14:00～16:00) |
|---------------------|----------------------|------------------|
| 岐阜 長森コミュニティーセンター | 大垣 大垣市南地区センター | 各務原 ときめきホール |
| | | 5月 8日 (日) |
| 5月 12日 (木) | 5月 13日 (金) | 5月 15日 (日) |
| 5月 19日 (木) | 5月 20日 (金) | 5月 22日 (日) |
| 5月 26日 (木) | 5月 27日 (金) | 5月 29日 (日) |
| 6月 2日 (木) | 6月 3日 (金) | 6月 5日 (日) |
| 6月 9日 (木) | 6月 10日 (金) | 6月 12日 (日) |
| 6月 16日 (木) | 6月 17日 (金) | 6月 19日 (日) |
| 6月 23日 (木) | 6月 24日 (金) | 6月 26日 (日) |
| 6月 30日 (木) | 7月 1日 (金) | 7月 3日 (日) |
| 7月 7日 (木) | 7月 8日 (金) | 7月 10日 (日) |
| 7月 14日 (木) | 7月 15日 (金) | 7月 17日 (日) |
| 7月 21日 (木) | 合同練習 (長森コミュニティーセンター) | |
| 7月 23日 (土)～24日 (日) | 合宿 (コージュ高鷲) 詳細は後日 | |
| 7月 28日 (木) | 7月 29日 (金) | 7月 31日 (日) |

練習時間・練習場所・体制等は、変更になることもありますので、ご注意・ご了承ください。

練習時間には余裕をもって集合しましょう



5月から新たに日曜教室が始動！指導：平光保先生、練習会場：ときめきホール
現在の団員の皆さまも、通常のレッスン日に来られなかった方、またはもう少し自信を持って歌ってみたい方などに来ていただければと思います。

広報より 皆様からのご意見・ご投稿をお待ちしております。ご投稿・ご質問等は下記までお問い合わせ下さい。

坂井 俊郎 mail : sakai_gifu@yahoo.co.jp 090-7041-9133
高橋なお子 mail : wien.chorus2021@gmail.com 090-9933-0374